



報道関係各位

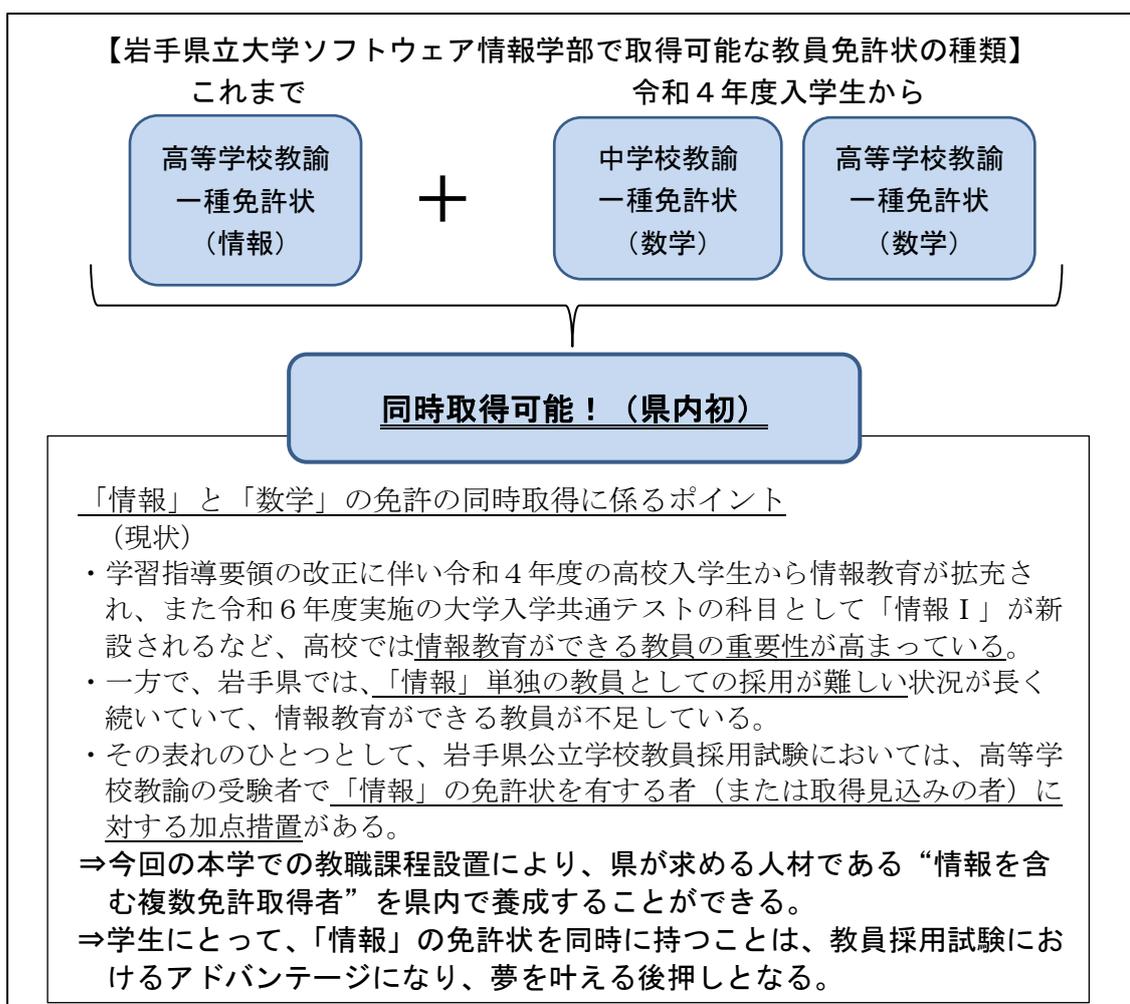
岩手県立大学ソフトウェア情報学部
岩手県立大学教育支援本部

県内初 「情報」と「数学」の教員免許同時取得が可能に 「数学」教職課程が令和4年度スタート

岩手県立大学ソフトウェア情報学部において、令和4年4月開設に向け文部科学省に申請中であった新たな教職課程について、このたび認定されましたのでお知らせいたします。

従来、ソフトウェア情報学部では、高校「情報」の教員免許状の取得が可能でしたが、令和4年度入学生から、さらに中学・高校「数学」が加わり、県内で唯一、同時取得も可能となります。

GIGAスクール構想(注)のもと、急激に発展するICTに対応し、一人一台の端末を使用する授業展開や、生徒のICTリテラシーの育成が求められる学校現場の中で、自身の専門性を活かし、数学の指導力を発揮できる教員の育成を目指します。



(注)GIGAスクール構想…2020年度から始まる10年ぶりの学習指導要領の改訂を受け、1人1台端末をはじめとするハード環境の整備や、それらを活用し個別最適化された教育ICT環境を実現すること。

(「数学」教職課程設置に向けた背景については、次頁に続く→)

【「数学」教職課程設置の背景等】

○ソフトウェア情報学部における取り組み

従来の情報社会から新たなデジタル社会（スマート社会）へと変革していく中、その実現のためには、数学やコンピュータサイエンスに関する高度な知識を有しながらICTを効果的に活用して実社会のデータ収集・分析・問題解決等が行える人材育成が望まれます。こうした時代背景を受け、ソフトウェア情報学部では、これまでのコンピュータサイエンスに立脚したアプローチに加えて、数理的なアプローチを重視するよう令和元年から4つのコース（データ・数理科学、コンピュータ工学、人工知能、社会システムデザイン）の設置とともに、一人一台端末（BYOD）環境・ICT環境の整備と行いました。さらに、来年度からは、「数学」の教職課程の設置にあわせ、学部のカリキュラムにおいて数学関連科目を充実させます。これにより、数理・情報技術とシステムに関する幅広い知識とスキルを修得し、それらを活用しながら課題解決に取り組むことができる学部生を育成していきます。その中でも、「数学」と「情報」の教職課程の履修学生については、数学と情報の専門科目を体系的に学修することで、数学と情報の学修内容の理解とICTを活用した問題解決能力を指導・育成できる教員として地域に貢献することが期待されます。

参考 学部の教育・研究

<https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/study/laboratory/>

○大学全体としての取り組み

教員養成課程の充実を図るため、教職課程に関する企画、実施、評価および改善等の全学的なマネジメントを行う組織として「教職教育センター」を令和3年4月に新たに設置しました。当センターは、教育課程を有する学部の教職課程担当教員を中心に構成され、1年生からの教職ガイダンス、教員採用試験対策、高大連携における協定校等を活用した教育実習体制の整備、県内教育機関との連携・協働に取り組みながら、教員養成による地域貢献に努めていきます。

参考 教職教育センター

<http://www.iwate-pu.ac.jp/department/kyoshokukyoikucenter.html>